

Tera

バーコードスキャナー 取扱説明書

初めに

1. バーコードスキャナーを正しく使用するためには、説明書をよく読んでから設定コードをスキャンしてください。そうしないと、一部の設定が一時的に使用できなくなることがあります。
 2. 使用する前に、スキャナーに十分な電力があることを確認してください。
 3. コンピュータの USB コネクタまたは 5V DC USB コネクタの電源アダプタを使用してスキャナーを充電してください。
- その他の電源は、スキャナーやバッテリーに損傷を与える可能性があります。

スキャナーの操作についてご質問がある場合は
以下の手順に沿ってお問い合わせください：

1. アカウントサービス>注文履歴を開きます>「出品者」のリンクをクリックします>詳細の「出品者に連絡」をクリックします。
2. 商品の詳細ページで、在庫状況の下に表示される出品者名をクリックします>出品者のページ上で質問するボタンをクリックします。

目 录

ワイヤレスを工場出荷時のデフォルトに戻す.....	1
工場出荷に戻る使用方法.....	1
カスタムデフォルト設定.....	1
バージョン番号の表示.....	2
提示音設定.....	2
提示音周波数.....	2
振動設定.....	3
スキャンモード.....	3
電量表示.....	3
スリープ時間の設定.....	4
USB キーボードの日本語出力.....	5
ワイヤレス動作モード.....	6
同期モード.....	6
ストレージモード.....	6
データ制御.....	7
すべてのデータをアップロード.....	7
アップロードされたデータの合計数.....	7
すべてのデータを消去.....	8
ワイヤレスペアの設定.....	8
ワイヤレス 2.4 G ペアリングの手順 (受信機のペアリング).....	8
Bluetooth HID ペアリングの手順.....	9
Bluetooth SPP ペアリングの手順 (android 適応).....	10
Bluetooth BLE ペアリング手順 (ios 適応).....	11
Bluetooth モード機能の設定.....	11
IOS システム HID 仮想キーボードの設定 (Android システム非対応).....	12
Bluetooth HID アップロード速度の設定.....	13
Bluetooth 名の設定.....	14
Bluetooth 名を取得.....	15
キーボード言語の設定.....	15
大文字と小文字の変換.....	17
隠し文字 GS 置換機能.....	17
カスタム GS 置換.....	18
GS 置換をキャンセル.....	18

カスタム接頭辞設定.....	18
カスタム接頭辞の追加.....	19
カスタム接頭辞の消去.....	19
カスタム接尾辞の追加.....	19
カスタム接尾辞の消去.....	20
前/後の文字を非表示にする.....	20
前後文字の非表示をクリア.....	21
終了文字の設定/ターミネータ設定.....	21
付録-LED の説明.....	22
LED の基本的な機能の説明.....	22
付録-ブザー音の説明.....	23
バーコード種類別オン/オフ.....	24
付録-ASCII コード文字表.....	30
リアルタイムに時間更新.....	41
プレフィックスに時間追加.....	42
サフィックスに時間追加.....	42
時間追加の削除.....	42

ワイヤレスを工場出荷時のデフォルトに戻す

すべてのスキャナには工場出荷時のデフォルト設定があり、「ワイヤレスを工場出荷時のデフォルトに戻す」設定バーコードを読み取ると、スキャナのすべてのワイヤレスプロパティがデフォルト状態に設定されます。



%%SpecCode93

ワイヤレスを工場出荷時のデフォルトに戻す

使用方法:

このバーコードは、次のような場合に使用される可能性が高くなります:

1. バーコードが認識されないなど、スキャナーの設定エラー。
2. 以前にどのような設定をしたかを忘れてしまい、かつ以前の設定を使いたくありません。
3. あまり使われていない機能を使用するように設定し、使用した後。

カスタムデフォルト設定

カスタムデフォルトを設定することで、ワイヤレスパラメータのデフォルト値を設定できます。「設定モードに入る」バーコードをスキャンしてから、必要なワイヤレスパラメーター機能をスキャンし、設定が完了したら、「セットアップモードを終了する」バーコードをスキャンしてください。設定が完了すると工場出荷時のデフォルト値が置き換わります。ワイヤレスパラメータの設定が復元されても、元の状態には戻りません。



%%SpecCode92



%%EnterSet



%%ExitSet

カスタムデフォルト設定 設定モードに入る セットアップモードを終了する

バージョン番号の表示

現在のスキャナーワイヤレスソフトウェアのバージョン番号情報は、下の「バージョン番号の表示」をスキャンして参照できます。



%%SpecCode39

バージョン番号の表示

提示音設定



%%SpecCode97

提示音高*



%%SpecCode96

提示音中



%%SpecCode95

提示音低



%%SpecCode94

提示音オフ

提示音周波数



%%SpecCode7C
2048MHz



%%SpecCode7D
2730MHz

振動設定



%%SpecCode77
振動をオン (optional)



%%SpecCode76
振動をオフ (optional)

注意: 振動機能は一部の製品で利用できます。

電量表示

現在のスキャナの電量を確認する必要がある場合は、「電量表示」設定コードを直接スキャンして確認できます。



%%SpecCode15
電量表示

スキャンモード



トリガースキャン



TRIGPRE

自動検知スキャン

注意: 自動検知スキャンモードでは、スキャナーが照度を検知し、照度に変化したときに読み取りを行うモードです。周囲の照度変化を検知して、読み取り線が出ます。

スリープ時間の設定



%%SpecCode30
スリープ時間 30 秒



%%SpecCode31
スリープ時間 1min



%%SpecCode32
スリープ時間 2 分



%%SpecCode33
スリープ時間 5 分*



%%SpecCode34
スリープ時間 10 分



%%SpecCode35
スリープ時間 30 分



%%SpecCode36
スリープしない



%%SpecCode38
今すぐスリープ

USBキーボードの日本語出力

以下の手順に沿って、スキャナーを設定してください。

1. 文字セット種類：SHIFT-JISとUTF-8

出力インタフェース：Excel/メモ帳

パソコンシステム言語：日本語

スキャン設定コード：

【自動検査（デフォルト）】

【日本語システム（メモ帳/Excel）】 【%%SpecCodeB5】

2. 文字セット種類：SHIFT-JIS

出力インタフェース：WORD

パソコンシステム言語：日本語

スキャン設定コード：

【日本語shift-jisコード】 【UTF-8コード】 【%%SpecCodeB4】

3. 文字セット種類：UTF-8

出力インタフェース：WORD

パソコンシステム言語：日本語

スキャン設定コード：

【自動検査（デフォルト）】 【UTF-8コード】 【%%SpecCodeB4】



自動検査（デフォルト）



日本語shift-jisコード



日本語システム（メモ帳/Excel）



UTF-8コード



%%SpecCodeB5



%%SpecCodeB4

ワイヤレス動作モード

ワイヤレススキャナには、同期モード、非同期モード、ストレージモードの3つの異なる動作モードがあり、異なる設定コードを使用してモードを切り替えることができます。

同期モード

同期モードは通常モードとも呼ばれ、同期モードを設定すると、ユーザーは通常のバーコードをスキャンします。スキャンすると転送され、切断すると破棄されます。



%%SpecCode10
同期モード*

ストレージモード

ストレージモードは、インベントリモード、倉庫モードとも呼ばれます。ストレージモードを設定すると、ユーザーは通常のバーコードをスキャンする場合、バーコード情報はホストデバイスに直接アップロードされるのではなく、スキャナメモリに保存されます。スキャナに保存されているデータを表示するには、データ制御を使用してデータをアップロードしたり、データをクリアしたり、バーコードデータを統計的に表示したりすることができます。スキャナの電源がオフになっている場合、スキャナに保存されているデータは、すべてのデータがクリアされない限り失われません。



%%SpecCode11
ストレージモード

データ制御

データ制御は、スキャナがデータ処理作業を記憶するために使用される。

すべてのデータをアップロード

ユーザーがバーコードに保存されているデータをコンピュータまたはモバイルデバイスにアップロードする必要がある場合は、「すべてのデータをアップロード」をスキャンすると、コンピュータまたはモバイルデバイスにデータをアップロードできます。

任意の動作モードですべてのデータをアップロードする場合、データアップロードが成功した後、保存されているバーコードは、すべてのバーコードをスキャンしてクリアしない限り削除されません。



%%SpecCode16
すべてのデータをアップロード

アップロードされたデータの合計数

ユーザーがバーコードに保存されているデータの総数を統計する必要がある場合、「アップロードされたデータの合計数」をスキャンすることで、バーコードに保存されているデータの総数をコンピュータまたはモバイルデバイスにアップロードすることができます。



%%SpecCode17
アップロードされたデータの合計数

すべてのデータを消去

ユーザーがバーコードに保存されているデータを消去する必要がある場合は、「データ消去」をスキャンしてバーコードに保存されているデータをすべて消去します。



%%SpecCode18
すべてのデータを消去

ワイヤレスペアの設定

ワイヤレス 2.4 G ペアリングの手順 (受信機のペアリング)

XP、Win7、Win8、Win10、MACOSなどをサポートしています。

ステップ1: ワイヤレス 2.4G モード設定コードのスキャン

ワイヤレス 2.4G モードが設定されている場合、デフォルトでは、最後にペアリングされた受信機が優先的に接続されます。



%%SpecCodeA8
ワイヤレス 2.4 G モード

ステップ2: 「強制ペアリング」設定コードをスキャンしてペアリング状態にし、青い提示光をすばやく点滅させます。



%%SpecCode99

強制ペアリング

ステップ3:Dongle（受信機）を挿入して、ペアリングが成功したことを示す「び」という音を聞こえます。青いLEDは点灯します。

注意:ペアリング状態は、キーを2回連続してクリックするか、ペアリングが1分タイムアウトすると終了します。

Bluetooth HID ペアリングの手順

注意:下のBluetoothに関する設定はBluetooth付きのスキャナーだけに適応です。

ステップ1:Bluetooth HID モード設定コードのスキャン

ワイヤレス Bluetooth HID モードを設定すると、デフォルトでは、最後にペアリングされた受信機が優先的に接続されます。



%%SpecCodeAA

Bluetooth HID モード

ステップ2:「強制ペアリング」設定コードをスキャンしてペアリング状態にすると、青い提示ライトがすばやく点滅します。



%%SpecCode99

強制ペアリング

注意:Bluetooth HID ペアリング状態になるには、キーを8秒間押し続けてもできます。

ステップ3:デバイスでBluetoothをオンにし、「Bar Code Bluetooth HID」を検索します。

ステップ4:BarCode Bluetooth HID Bluetooth デバイスをクリックしてペアリング状態にします。

ステップ5:ペアリングに成功したことを示す「び」という音が聞こえ、青い提示ライトが点灯します。

注意:ペアリング状態は、キーを2回連続してダブルクリックするか、ペアリングが1分タイムアウトすると終了します。

Bluetooth SPP ペアリングの手順 (android 対応)

ステップ1:Bluetooth SPP モード設定コードのスキャン

ワイヤレス Bluetooth SPP モードを設定すると、SPP モードに自動的に移行し、デフォルトでブロードキャスト状態になるため、SPP ソフトウェアで BarCode Bluetooth SPP デバイスを直接クリックしてペアリングできます。



%%SpecCodeAB

Bluetooth SPP モード

ステップ2:SPP パススルーソフトウェアで「BarCode Bluetooth SPP」を検索します。

ステップ3:「BarCode Bluetooth SPP」をクリックして、Bluetooth デバイスをペアリング状態にします。

ステップ4:接続が正常にペアリングされたことを示す「び」という音が聞

こえ、青色の LED が点灯します。

Bluetooth BLE ペアリング手順 (ios 対応)

ステップ 1: Bluetooth SPP モードの設定コードをスキャンします
ワイヤレス Bluetooth BLE モードを設定すると、自動的に BLE モードになり、
デフォルトでブロードキャスト状態になります。BLE ソフトウェアで
BarCode Bluetooth BLE デバイスを直接クリックしてペアリングすることができます。



%%SpecCodeAC

Bluetooth BLE モード

ステップ 2: SPP ソフトウェアで「BarCode Bluetooth BLE」を検出します。

ステップ 3: 「BarCode Bluetooth BLE」をクリックして、Bluetooth デバイスをペアリング状態にします。

ステップ 4: 接続が正常にペアリングされたことを示す「び」という音が聞こえ、青色の LED が点灯します。

Bluetooth モード機能の設定

Bluetooth HID 検索を開始するには、8 秒間長押しします。

Bluetooth バーコーダーを使用している場合は、8 秒間長押しして Bluetooth HID 検索を開始すると、Bluetooth 構成接続をより高速に行うことができます。



%%SpecCode79

8 秒間の長押しで

Bluetooth HID 検索をオンにする



%%SpecCode78

8 秒間の長押しで

Bluetooth HID 検索をオフにする

IOS システム HID 仮想キーボードの設定 (Android システム非対応)

Bluetooth HID モードを使用して IOS システムに接続しているときは、「IOS キーボードの表示/非表示」をスキャンして、IOS キーボードを表示/非表示にすることができます。



%%SpecCode1A

IOS キーボードの表示/非表示

ユーザーは IOS キーボードのクイック表示/非表示を設定することもできます。ダブルクリックで IOS キーボードを表示する機能をオンにすると、スキャナボタンをクリックするだけで IOS 仮想キーボードを呼び出すことができます。



%%SpecCode7B

ダブルクリックで IOS キーボードを表示 (HID モード) をオンにします。



%%SpecCode7A

ダブルクリックで IOS キーボードを表示 (HID モード) をオフにします。

Bluetooth HID アップロード速度の設定

Bluetooth HID を使用して Bluetooth ホストに接続する場合、Bluetooth ホストの応答性に応じて Bluetooth スキャナのアップロード速度を調整することができます。アップロードしたコンテンツが乱れたり失われたりした場合は、速度を下げてください。



%%SpecCodeB0

高速アップロード



%%SpecCodeB1

アップロード速度中*



%%SpecCodeB2

アップロード速度が遅い



%%SpecCodeB3

アップロード速度が非常に遅い

Bluetooth 名の設定

以下の手順で Bluetooth HID、SPP、BLE の Bluetooth 名をカスタマイズします。

操作手順は以下のとおりである

ステップ 1: カスタム Bluetooth 名設定コードのスキャン



%%SpecCodeEC

Bluetooth 名のカスタマイズ

ステップ 2: Bluetooth 名のバーコードをスキャンします。

注: Bluetooth のデフォルト名は「Barcode Scanner」です。この手順で設定すると、このバーコードが Bluetooth の名前に設定されます。

- 名前は 16 バイトまでしか設定できません。名前のバーコードが 16 バイトを超える場合は、最初の 16 バイトのみが Bluetooth 名として使用されます。
- Bluetooth のフルネームには、Bluetooth 名+プロトコルタイプが含まれます。Bluetooth 名の変更のみがサポートされています。Bluetooth の名前を変更すると、すべての Bluetooth プロトコルの名前が変更されます。

例: Bluetooth 名を Scanner に設定します。

ステップ 1: カスタム Bluetooth 名設定コードのスキャン



%%SpecCodeEC

Bluetooth 名のカスタマイズ

ステップ 2:Bluetooth 名のバーコードを作成してスキャンします。



Scanner

Bluetooth 名 Scanner

セットアップ完了後:

Bluetooth HID の名前は、「Scanner HID」と表示されます。

Bluetooth SPP の名前は、「Scanner SPP」と表示されます。

Bluetooth BLE の名前は、「Scanner BLE」と表示されます。

Bluetooth 名を取得



%%SpecCodeED

Bluetooth 名を取得

注意:Bluetooth HID、SPP、BLE モードでのみ Bluetooth 名を取得できます。それ以外の場合は失敗します。

キーボード言語の設定

異なる国の言語に対応するキーボードの配置、記号などは異なり、スキャナーは実際の必要に応じて異なる国のキーボード方式に仮想化することがで

き、キーボードレイアウトの設定はHID通信インタフェースモードに適用され、デフォルトは「アメリカ英語キーボード」に設定されている。



%%SpecCode40

英語



%%SpecCode41

ドイツ語



%%SpecCode42

フランス語



%%SpecCode43

スペイン語



%%SpecCode44

イタリア語



%%SpecCode45

日本語



%%SpecCode47

ベルギー、フランス語



%%SpecCode46

国際共通キーボード

注意:すべてのPC側の言語をサポートする国際共通キーボード。

大文字と小文字の変換

スキャナの文字の大文字と小文字の変換機能を設定することにより、スキャナ出力データの英字の大文字と小文字の変換を行うことができます。

たとえば、バーコードの内容が aBC123 の場合、スキャナは「すべて小文字」に設定され、ホストのデータは「abc123」になります。デフォルトは Normal 標準出力です。



%%SpecCodeA5

Normal (変更なし) *



%%SpecCodeA4

Upper (すべて大文字)



%%SpecCodeA3

Lower (すべて小文字)



%%SpecCodeA6

Inverse (大文字と小文字を逆にする)

注意: このパラメータは、標準キーボード入力モードとキーボードエミュレーション入力制御文字モードでのみ有効です。

隠し文字 GS 置換機能

GS 置換機能を使用すると、隠し文字 GS を他の文字に置換することができ、ホスト機器での表示を容易にすることができます。隠れた GS 文字を表示する必要がある場合は、ASCII コード文字表の 1D に GS 置換を設定することができます。

カスタム GS 置換

ステップ 1: カスタム GS 置換設定コードのスキャン



%%SpecCodeEF

カスタム GS 置換

ステップ 2: 「付録-ASCII コード文字表」で検索し、置換する文字に対応するバーコードをスキャンします。

例:

GS 文字を表示可能な「|」文字に置き換える

ステップ 1: カスタム GS 置換設定コードのスキャン

ステップ 2 では、「付録-ASCII コード文字表」で検索し、「|」文字に対応するバーコードを見つけ、スキャンします。

GS 置換をキャンセル



%%SpecCodeEE

GS 置換をキャンセル

カスタム接頭辞設定

この製品では、最大 32 バイトの接頭辞設定をサポートしています。

カスタム接頭辞の追加

手順 1: 「カスタム接頭辞を追加」設定コードをスキャンする、



%%SpecCode9A

カスタム接頭辞を追加

ステップ 2: 必要に応じて追加の内容は、「ASCII コード文字表」をスキャンして、カスタム接頭辞に対応する設定コードをスキャンしてください。

例:

「ABC123」を設定し、カスタム「789」を追加し、「789ABC123」を出力します。

ステップ 1: 「カスタム接頭辞を追加」設定コードをスキャンする

ステップ 2: 必要に応じて追加の内容を照会して「ASCII コード文字表」を順次スキャンして「7」、「8」、「9」対応の設定コードをスキャンしてください。

カスタム接頭辞の消去

3 ページ目の「ワイヤレスを工場出荷時のデフォルトに戻す」をスキャンして、接頭辞を消去できます。

カスタム接尾辞の追加

ステップ 1: 「カスタム接尾辞の追加」設定コードをスキャンする、



%%SpecCode9B

カスタム接尾辞の追加

ステップ2:必要に応じて追加の内容は、「ASCIIコード文字表」をスキャンしてカスタム接尾辞対応のコードを設定してください。

例:

「ABC123」を設定し、カスタム「XYZ」を追加し、「ABC123XYZ」を書き出します。

ステップ1:「カスタム接尾辞の追加」設定コードをスキャンする、

ステップ2:必要に応じて追加の内容を照会して「ASCIIコード文字表」を順次スキャンして「X」、「Y」、「Z」対応の設定コードをスキャンしてください。

カスタム接尾辞の消去

3 ページ目の「ワイヤレスを工場出荷時のデフォルトに戻す」をスキャンして、接頭辞を消去できます。

前/後の文字を非表示にする

次の手順に従って、非表示の前後の文字の桁数を設定します。最大16桁まで非表示にできます。

ステップ1:「前の文字を非表示」または「後の文字を非表示」の設定コードをスキャンします。



%%SpecCodeA0

前の文字を非表示



%%SpecCodeA1

後ろの文字を非表示

ステップ2:必要に応じて、非表示の接頭辞または接尾辞文字のビット数に応じて、次のバーコードをスキャンします。



%%01

1桁を隠す



%%02

2桁を隠す



%%03

3桁を隠す



%%04

4桁を隠す

前後文字の非表示をクリア

「前の文字を非表示」するのをキャンセルしたい場合、もう一回「前の文字を非表示」の設定コードをスキャンして、前の文字隠すの設定が元に戻れます。「後ろの文字を非表示」の設定コードをもう一回スキャンして、後ろの文字隠すの設定が元に戻れます。

終了文字の設定/ターミネータ設定

終了文字は、完全なデータ情報の終了を示すために使用されます。終了文字接尾辞は、データ送信時の最後の内容である必要があり、その後にデータが追加されることはありません。必要に応じて適切な終了文字をスキャンしてバーコードを設定します。デフォルトはエンターです。



%%SpecCode9C



%%SpecCode9D

修正終了文字を<CR>に修正 (0x0D) *

終了文字を<LF>に修正 (0x0A)



%%SpecCode9E



%%SpecCodeA2

終了文字を<CR><LF>に修正 (0x0D, 0x0A) 終了文字を<HT>に修正 (0x09)



%%SpecCode9F

終了文字をなしに変更 NONE

付録-LED の説明

LEDの基本的な機能の説明:

ブルーライト2	ワイヤレスが接続されているかどうかを示します。接続されている場合は常に点灯し、接続されていない場合は消灯します。
ブルーライト1	コードスキャンLEDは、バーコードの読み取りに成功すると、一時的に点滅します。
赤信号LED3	赤信号が常時点灯している場合は充電中、赤信号が消灯している場合は満充電または接続されていないことを示す。
ブルーライト2消灯、 ブルーライト1フラッシュ	2. 4Gモードでのペアリング状態。
ブルーライト1が消灯、 ブルーライト2が点滅	SPPモードでのペアリング状態。

ブルーライト1とブルーライト2が交互に点滅する	HIDモードでのペアリング状態。
ブルーライト1とブルーライト2の同期フラッシュ	BLEモードでのペアリング状態。
ブルーライト1とブルーライト2が同期してスローフラッシュする	モジュールはアップグレード状態です。

付録-ブザー音の説明

LED基本機能の説明:

1つの長音（先に低いものから後に高いものまで）	電源がオンになっていることを示す。
1つの長音（最初は高いが後は低い）	電源がオフになっていることを示す。
短音	通常のバーコードが読み取られたか、ペアリングに成功したか、ワイヤレス接続に成功したかを示します。
1つの短い音（最初は低いが後は高い）	スキャンしたデータが保存されたことを示します。
1つの短い音（最初に高い後に低い周波数）	設定コードがスキャンされたことを示します。
3回の短音	ワイヤレス転送が失敗したか、メモリーがいっぱいであることを示します。
5回の短音	バッテリーが切れていることを示す。
2回の短音（低周波）	ワイヤレス接続が切断されていることを示します。
2回の短音（高周波）	スキャンした設定コードが機能しない。

バーコード種類別オン/オフ



CODALL1

すべてバーコードをオン



CODALLO

すべてバーコードをオフ



CODONE1

1次元コードをオン



CODONE0

1次元コードをオフ



CODTWO1

2次元コードをオン



CODTWO0

2次元コードをオフ

白黒反転したバーコード



VIDREVO

正相バーコードオン*



VIDREV2

正相と逆相コードオン

UPC-A



UPCA1

UPC-Aオン*



UPCA0

UPC-Aオフ



UPCAS1

チェックデジット送信*



UPCAS0

チェックデジット非送信



UPAENA1

UPC-AからEAN-13に変更



UPAENA0

UPC-AからEAN-13に非変更

UPC-E



UPCE1

UPC-Eオン*



UPCE0

UPC-Eオフ



UPCES1

チェックデジット送信*



UPCES0

チェックデジット非送信

EAN-8



EAN81

EAN-8オン*



EAN80

EAN-8オフ

EAN-13



EAN131

EAN-13オン*



EAN130

EAN-13オフ

ISBNに変更



ISBN1

オン



ISBN0

オフ*

ISSNに変更



ISSN1

オン



ISSN0

オフ*

UPC/EAN/JANアドオンコード





UESUPP1

2/5アドオンコードオン



UESUPP0

2/5アドオンコードオフ



UESUPP2

2/5アドオンコード自動認識

Code 128



COD1281

Code128オン*



COD1280

Code 128オフ

GS1-128



GS11281

GS1-128オン*



GS11280

GS1-128オフ

Code 39



CODE391

Code 39オン*



CODE390

Code 39オフ



C39ACS1

FULL ASCIIオン



C39ACS0

FULL ASCIIオフ*



C39CK0

チェックデジットオフ



C39CK2

MOD43チェックデジットオン, 伝送



C39CK1

MOD43チェックデジットオン, 非伝送*

Code 32



CODE321

Code 32オン



CODE320

Code 32オフ*

Code 93



CODE931

Code 93オン*



CODE930

Code 93オフ

Code 11



C11ENA1

Code 11オン



C11ENA0

Code 11オフ*



C11CKT1

チェックデジット伝送



C11CKT0

チェックデジット非伝送*

Codabar (NW-7)



CODBAR1

Codabar オン*



CODBAR0

Codabar オフ



CBRENA1

スタート/ストップ文字伝送



CBRENA0

スタート/ストップ文字非伝送*

Interleaved 2 of 5



ITF251

Interleaved 2 of 5 オン*



ITF250

Interleaved 2 of 5 オフ



I25CK0

チェックデジット オフ*



I25CK2

チェックデジット オン, 伝送



I25CK1

チェックデジット オン, 非伝送

Matrix 2 of 5



MAT251

Matrix 2 of 5 オン*



MAT250

Matrix 2 of 5 オフ

Industrial 2 of 5



IDS251

Industrial 2 of 5 オン*



IDS250

Industrial 2 of 5 オフ

GS1 DataBar 14 (RSS-14)



RSS141

GS1 DataBar 14 オン*



RSS140

GS1 DataBar 14 オフ

GS1 DataBar Limited (RSS-Limited)



GS1LMT1

RSS-Limited オン*



GS1LMT0

RSS-Limited オフ

GS1 DataBar Expanded (RSS-Expanded)



GS1EPD1

RSS-Expanded オン*



GS1EPD0

RSS-Expanded オフ

QR Code



QR CODE1

QR Code オン*



QR CODE0

QR Code オフ

Micro QR Code



MQR CODE1

Micro QR Code オン*



MQR CODE0

Micro QR Code オフ

Data Matrix



DATAM1

Data Matrix オン*



DATAM0

Data Matrix オフ

PDF 417



PDF4171

PDF 417 オン*



PDF4170

PDF 417 オフ

Micro PDF 417



MPDF1

Micro PDF 417 オン*



MPDF0

Micro PDF 417 オン*

付録-ASCII コード文字表

接尾辞表は、制御文字表部分と可視文字部分の2つの部分に分かれています。

可視文字表は通常、定義せずに HID キーボードから直接出力できます。

制御文字表は、HID キーボードから直接出力することはできません。HID キーボードから出力するには、定義する必要があります。お客様は、必要に応じて適切な定義文字セットを設定できます。



定義文字セット設置 0



定義文字セット設置 1













定義文字セット設置 2












定義文字セット設置 3

ASC II	文字 セッ ト 0	文字 セッ ト 1	文字セ ット 2	文字セ ット 3	設置コード
SOH	NULL	Home	Ctrl+A	Alt+001	 %%01
STX	Ctrl +B	End	Ctrl+B	Alt+002	 %%02















ETX	Ctrl+C	Up Arrow	Ctrl+C	Alt+003	 %%03
EOT	NULL	Down Arrow	Ctrl+D	Alt+004	 %%04
ENQ	NULL	Left Arrow	Ctrl+E	Alt+005	 %%05
ACK	NULL	Right Arrow	Ctrl+F	Alt+006	 %%06
BEL	NULL	Shift+Tab	Ctrl+G	Alt+007	 %%07
BS	Back Space	Back Space	Back Space	Alt+008	 %%08
HT	Tab	Tab	Tab	Alt+009	 %%09
LF	Enter	Enter	Ctrl+P	Alt+010	 %%0A
















VT	NULL	NULL	Ctrl+Q	Alt+011	 %%0B
FF	NULL	NULL	Ctrl+R	Alt+012	 %%0C
CR	Enter	Enter	Enter	Alt+013	 %%0D
S0	F1	Page Up	Ctrl+N	Alt+014	 %%0E
S1	F2	Page Down	Ctrl+O	Alt+015	 %%0F
DLE	F3	F11	Ctrl+P	Alt+016	 %%10
DC1	F4	NULL	Ctrl+Q	Alt+017	 %%11
DC2	F5	NULL	Ctrl+R	Alt+018	 %%12
DC3	F6	NULL	Ctrl+S	Alt+019	 %%13
















DC4	F7	NULL	Ctrl+T	Alt+020	 %%14
NAK	F8	F12	Ctrl+U	Alt+021	 %%15
SYN	F9	F1	Ctrl+V	Alt+022	 %%16
TB	F10	F2	Ctrl+W	Alt+023	 %%17
CAN	F11	F3	Ctrl+X	Alt+024	 %%18
EM	F12	F4	Ctrl+Y	Alt+025	 %%19
SUB	NULL	F5	Ctrl+Z	Alt+026	 %%1A
Esc	Esc	F6	Ctrl+[Alt+027	 %%1B
FS	ALT+028	F7	Ctrl+¥	Alt+028	 %%1C
















GS	ALT+029	F8	Ctrl+]]	Alt+029	 %%1D
RS	NULL	F9	Ctrl+^ ^	Alt+030	 %%1E
US	NULL	F10	Ctrl+_ _	Alt+031	 %%1F
















文字	設置コード	文字	設置コード	文字	設置コード
-	 %%2D	SP 空格	 %%20	!	 %%21
~	 %%22	#	 %%23	\$	 %%24
%	 %%25	&	 %%26	`	 %%27
















( %%28)	 %%29	*	 %%2A
+	 %%2B	,	 %%2C		
.	 %%2E	/	 %%2F	0	 %%30
1	 %%31	2	 %%32	3	 %%33
4	 %%34	5	 %%35	6	 %%36

7	 %%37	8	 %%38	9	 %%39
:	 %%3A	;	 %%3B	<	 %%3C
=	 %%3D	>	 %%3E	?	 %%3F
@	 %%40	A	 %%41	B	 %%42
C	 %%43	D	 %%44	E	 %%45

F	 %%46	G	 %%47	H	 %%48
I	 %%49	J	 %%4A	K	 %%4B
L	 %%4C	M	 %%4D	N	 %%4E
O	 %%4F	P	 %%50	Q	 %%51
R	 %%52	S	 %%53	T	 %%54

U	 %%55	V	 %%56	W	 %%57
X	 %%58	Y	 %%59	Z	 %%5A
[ %%5B	¥	 %%5C]	 %%5D
^	 %%5E	_	 %%5F	,	 %%60
a	 %%61	b	 %%62	c	 %%63

d	 %%64	e	 %%65	f	 %%66
g	 %%67	h	 %%68	i	 %%69
j	 %%6A	k	 %%6B	l	 %%6C
m	 %%6D	n	 %%6E	o	 %%6F
p	 %%70	q	 %%71	r	 %%72

s	 %%73	t	 %%74	u	 %%75
v	 %%76	w	 %%77	x	 %%78
y	 %%79	z	 %%7A	{	 %%7B
	 %%7C	}	 %%7D	~	 %%7E
DEL	 %%7F	Ç	 %%C7	ç	 %%E7

リアルタイムに時間更新

注意：

時間追加機能は一部のスキャナーに適応です、すべてのスキャナーに適応ではありません。

A:トリガーボタンを押して、スキャナーの電源を入ります。

B:USB ケーブルでスキャナーとパソコンを接続します。

C:スキャナーで以下の QR コードをスキャンして、以下のリンクが出ます。
リンクをクリックして、ウェブを開きます。

(あるいはウェブで以下のリンクを手入力して、以下のリンクをタップして、ウェブを開きます。)

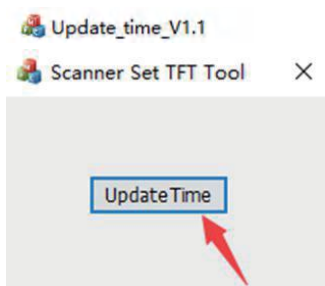
<https://share.weiyun.com/5080XFZ>



D:date_time_ V1.1 プログラムをダウンロードします。



E:date_time_ V1.1 プログラムをクリックして、時間を更新します。



プレフィックスに時間追加

バーコードの先頭に時間を付けたい場合、以下の設定コードをスキャンしてください。



サフィックスに時間追加

バーコードの末尾に時間を付けたい場合、以下の設定コードをスキャンしてください。



時間追加の削除

時間の追加をキャンセルしたい場合、以下の設定コードをスキャンしてください。

